



令和6年  
3月1日

# たかまつだより No.62

発行・編集：高松地区まちづくり委員会広報記録部・高松公民館



Takamatsu Girls

### 鹿嶋市二十歳のつどい

令和六年一月七日の日曜日、カシマススポーツセンターで「令和五年度鹿嶋市二十歳のつどい」が開催されました。高松地区出身の皆さんも友達との久しぶりの再会に笑顔で喜び合う姿やスマートフォンで記念撮影する姿がみられました。式典後には地元居酒屋で同窓会が行われ、大変盛り上がったようです。

高松地区で育った二十歳の皆様、おめでとうございます。今後の活躍をお祈りいたします。

(野口記者)



Shota

晴れて、二十歳を迎えることができました。成人式で久しぶりに中学校の友人と会い、みんな大人になったなと感じたとともに、自分も社会人として、しっかりと頑張らないといけないなと思えました。これからいろいろな困難に当たることがあると思いますが、折れることなく自分の人生を全力で楽しんでいこうと思います。

シヨウタ



祝 鹿嶋市二十歳のつどい

二十歳になるまであっという間でした！一喜一憂した同級生に久しぶりに会い、仲間の大切さを改めて感じる事ができました。いつか語り合った理想に、いつか夢見た未来に、少し近づける事ができています。

明日の正義は自分らしい、思い描くHEROになるため頑張ります。

ヨシタケ



Yoshitake

## 高松公民館利用団体の会員募集のお知らせ

### ＜木もれび＞

「絵手紙」かいてみませんか？  
手紙をかくときちょっとだけ  
絵を添えてみる…



【日 時】毎月第2火曜日  
10:00～12:00  
【会 費】500円（材料費含む）  
【問合せ】丸井 よしえ（講師）  
☎ 090-2052-2344  
先ずは見学にいらしてください！

### ＜木滝あんば雑子＞

ぜひ、お仲間になりませんか？  
どなたでも参加できます！



【日 時】毎月第2火曜日  
19:00～20:00  
【問合せ】加藤 裕子  
☎ 090-5515-3967

### ＜高松着付けクラブ＞

【日 時】毎月第1・3火曜日  
10:00～12:00  
【問合せ】根本 雅子（会長）  
☎ 090-2740-7307  
【指導員】大川 須恵子



初心者の方大歓迎です！

### ＜健康太極はまゆう＞（太極拳）



【日 時】毎週土曜日 13:30～15:30  
【会 費】無料  
【問合せ】打田 啓次  
☎ 82-0290

腹式呼吸で代謝向上！  
体幹強化で基礎体力向上！

### ＜松味会＞（料理クラブ）



【日 時】毎月第3木曜日 9:30～13:00  
【会 費】1000円程度（材料費含む）  
【問合せ】（代表）田川 美代子  
☎ 0479-46-0671

楽しくクッキングしませんか？



この度、茨城県教育広報・NIEコンクールに『たかまつだより』を応募したところ、「優秀賞」をいただきました！今後の活動の励みにし、より良い広報紙をお届けできるように頑張ります！  
(広報記録部一同)



〇月△日☆曜日  
まちづくり研修

日直

### 編集後記

今年度は、コロナ禍によるイベント制限が解除され、公民館イベントも満足に実施することができました。広報記録部としても皆さんの真剣な姿や楽しんでる姿を出来るだけ広報紙に記録するよう試みた次第です。次年度は新たなまちづくり委員が編成され、新たなコミュニケーションプランが計画されています。新たな風でさらに高松地区を盛り上げていきたいと思っておりますので、皆さんもご参加ご協力をよろしくお願い致します。

(信楽)



鎌倉大仏



鳩サブレ

一月二十七日(土)  
 凧作りの教室を開催しました。  
 例年は凧の作成だけでしたが、  
 今年度は風食にカレーを食べて、  
 午後から凧あげを実施という内  
 容にしました。  
 カレーは好評でみんな競つよ  
 うにお代わりをしていました。  
 凧を上げるには風が弱かった  
 のですが、子どもたちは広いグ  
 ラウンドを駆け回って凧あげを  
 楽しんでいました。



一月十三日 高松かるた大会

新春恒例の「高松かるた大会」を開催しました。  
 高松かるたは、郷土の貴重な伝統と歴史を後世に  
 語り継ぐことを目的として昭和六十年に市内他地区  
 に先駆けて作られ、以来毎年新年に開催しています。  
 大会では、幼児・小学生(低学年・高学年)・シ  
 ニアの部、総勢六十名の方にご参加頂き、和気あい  
 あいとした雰囲気の中にも取得枚数同数の延長戦な  
 どもあり、熱戦が繰り広げられました。  
 ご協力頂きました子ども会育成会・高松幼稚園・  
 佐田保育園・高松小学校の関係者の皆様、ありがと  
 うございました。  
 参加者・関係者にとって改めて地域の身近な伝承  
 と触れ合うとても良い機会となりました。

(今村記者)



高学年の部



低学年の部



幼児の部



シニアの部

ポッチャ大会

12月3日(日)「ポッチャ」の大会が、高松小中学校  
 体育館で開かれ、高松地区の約70人が参加しました。  
 参加者たちは、チームで作戦を練ったり、声援を送っ  
 たり、楽しみながらプレーしていました。

※「ポッチャ」はパラリンピックの正式競技の一つで、  
 白いボールに赤と青のボールをどれだけ近づけられる  
 かを競います。



おもしろ理科先生

2月17日(土)高松公民館で『Dr.ナダレン  
 ジャーの自然災害実験教室』を開催しました。  
 Dr.ナダレンジャーこと納口泰明博士が助手の  
 ナダレンコとともに突風、落石、雪崩、地震、  
 液状化現象など、本当は怖い災害をミニチュア  
 で分かりやすく楽しく見せてくれました。見る  
 だけでなく、子どもたちも実験に参加するこ  
 とができたので、最後までサイエンスショーに  
 魅了されていました。



2024.01.13



1/14~16  
自然体験学習 in 猪苗代



ご卒業おめでとうございます

3年生は高校入試も終わり、3月11日に卒業式を迎えます。これまでの学校生活を振り返ると様々な行事や活動を通して大きく成長しました。地域の方々で行ったあんば囃子、アーティストMAROさんとの出会い。総体や陸上、駅伝、文化祭でのダンスや合唱など、それぞれに、たくさんの思い出をもって卒業していくことと思います。今日までお力添えいただき、ありがとうございました。これからも、未来を担う子ども達を引き続きよろしくお願ひいたします。

< 幼 少 中 連 携 版 >

高松中学校

1月14日(日)~16日(火) 1年生は自然体験学習(スキー学習)に行ってきました。

1日目、生徒たちは、転び方と起き上がり方、方向転換の仕方などの基本練習をしました。

2日目、練習を重ねていくうちにリフトの乗り降りに慣れ、なだらかな斜面を滑ることが出来るようになりました。1日中ゲレンデで過ごした夜は、みんなぐっすり眠っていました。

3日目、2時間程度の学習でしたが、生徒たちは、斜面の上から滑り降りることが出来るまでに上達していました。

3日間を通して自然の厳しさと偉大さを体験し、またウィンタースポーツの魅力にふれることが出来ました。



高松小学校

持久走大会

12月14日(木)に校内持久走大会が行われました。本年度より校舎が移転したため、昨年度までとはコースが異なり、粟生地区の住宅街を走りました。当日は、家族や高松幼稚園や地域の皆さんからの声援を背に全力で走り切り、ゴールした姿には満足した表情が表れていました。地域の皆さんには、道路の使用に際しご協力いただき、ありがとうございました。



1年生



4年生



5年生



2年生



3年生



6年生



大谷翔平グローブ届きました!



ご卒業おめでとうございます

卒業にあたって (6年生一同)

もうすぐ高松小学校を卒業します。小学校生活を思い返すとあっという間に感じます。わたしたちはこの6年間を通して成長してきました。このクラスには、だれかが困っているときに助けてくれる人が多くいます。また、男女関係なく仲が良いので、休み時間も一緒に遊びます。卒業したら別の中学に進学し、離れてしまう友達がいて、寂しい気持ちもありますが、いつまでも高松小学校で過ごしたこのメンバーを忘れずにいたいです。



6年女子



6年男子

# たかまつびと No.7

今回のたかまつびとは、下埜にお住いの前田竜甫さんをご紹介します。

前田さんは1996年に高松地区粟生で生まれ、高松小中学校出身で高校を卒業後、地元企業で働きながらボランティア活動をされています。

Q: どのようなボランティア活動をされていますか？

A: 鹿嶋市青少年育成市民会議推進委員として、少年の主張、夏休み家族絵画・ふれあい標語の運営や、高校生会の指導員をしています。その他、高松公民館でも活動している「NPO法人あっとホームたかまつ」のボランティアにも参加しています。

Q: 高校生会の指導員とはどのような事をしているのですか？

A: 高校生会は高校生主体で活動内容を考えボランティア活動をしているので、そのアドバイスやサポートをしています。

Q: どのようなきっかけでボランティアをはじめたのですか？

A: もともと人のために活動するのが好きで、中高の時には生徒会長をやっていました。高校生の時に先生から高校生会に参加しないかと誘われたのがボランティアを始めるきっかけとなりいまに至っています。



前田さんと高校生会の生徒さん

Q: 「高松」をどう思いますか？

A: 人が優しくて温かいです。勤務先の上司は同じ高松地区ということで、とても良くしていただいています。地元に住んでいると、子どもの頃を知っている方が声をかけてくれたりとてもフレンドリーにしてくれます。

Q: 今後の目標は？

A: これからもっと楽しい事をやっていきたいです。今の活動を継続して、高松地区を含めて鹿嶋市を、盛り上げていきたいです。

## 『東日本大震災 3.11』から13年

元旦の夕方、携帯のアラームが鳴り、家の中に吊るしてあった洗濯ハンガーが揺れ始めたので、慌ててテレビをついたら、能登半島が震源という…「あんな遠いところの地震が鹿嶋まで揺れるなんて、とんでもない大きな地震だわ!」と思ったら、実際そうになってしまいました。

毎日流れる映像を、他人事ではない様な気持ちで見ていた方も多かったのではないのでしょうか。「東日本大震災3.11」では、それぞれ皆さん大変な苦勞をされましたから。

高松地区は高松公民館と高松中学校体育館が避難所となり、当時主事だった私は避難所の運営にかかわりました。トイレのこと、体育館の寒さ、大型店は全て閉まって、何も手に入らなくなってしまった事、本当に困りました。近くの区長さん方がすぐにお米を持って来てくださったのを始め、その後も有難い支援がたくさんありました。

3.11から今年で13年経ちました。3.11後しばらくは車のガソリンをこまめに入れるなど、気を付けていた事など忘れがちになっていましたが、能登半島地震で改めて災害への備えの必要を感じました。

高松地区も、全国と同じく高齢化がさらに進む事でしょう。実際まわりを見ても高齢化を感じます。普段からご近所どうして気かけ、お互い見守りすることが大切になってくるのではと考えます。そして、いざという時は助け合うことができる地区になると良いかと、高齢者の仲間入りをした私は、勝手に期待します。(駒田記者)



◀ 幼少中連携版 ▶

## 子ども劇場 12月6日(水)

今年も楽しみに子ども劇場を開催しました。合奏、遊戯、演劇などの発表を、それぞれの年齢に応じた、元気に表現しました。保護者の皆様に応援に来ていただき、たくさんの笑顔と大きな拍手の中、一人一人が堂々と最後まで自分の役割をやり遂げることができました。子ども達にとっても、園にとっても大切な思い出が、また一つ心に刻まれました。



## 高松ようちえん



## もちつき会 12月20日(水)

お正月に先立って、みんなでもちつき会を行いました。餅米がだんだんお餅に変化していく様子を体験させたいと、あらかじめボールでこねたお餅を臼に移し、杵を使ってみんなでついていきました。ねじりはちまきで颯爽と杵を振り上げ「ヨイショ!」と声を合わせます。一足早いお正月気分を味わうことができました。できたお餅は、みんなで丸めて鏡餅にして飾りました。



## お茶っこ会 1月23日(火)

今年、数年ぶりで地域の方々との交流として、お茶っこ会に参加させていただきました。年中・年長の子ども達が参加し、地域の集落センターで遊戯や歌をご披露しました。発表の後には、一緒に手あそびを行いました。地域の方々の温かいまなざしと優しい声掛けに、緊張していた子ども達も、すっかりいい気分になったようです。最後は、名残惜しうに、「また来年来るね!」と手を振っていました。地域の皆様、本当にありがとうございました。



## 豆まき 2月2日(金)

「鬼は外! 福は内!」子ども達の大きな声が園庭に響きます。鬼役をお互いに交替しながら節分の行事を味わいました。年に一度の節分は、普段あまり大きな声を出さない控えめな子ども、お腹の底から声を出し、自分の中の弱い鬼を追い払います。突然現れた本物の?鬼に驚く子どももいましたが、最後は優しくなった鬼さんと記念撮影をして楽しい豆まきは終わりました。

## ご卒園おめでとうございます!



◀ 小学生になっても幼稚園に遊びに来てね!